主たる研究機関 東京医科曲科大学 対理 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 研究機関 東北メディカル・メガバンク機構 要素施責任者 藤原 武男 所属 東京医科歯科大学 職位 教授 妊娠糖尿病の社会的背景を中心とした環境要因、遠伝要国については先行研究があるものの、新しい診断基準を用いた研究は限られており、遠伝・環境交互作用についても明らかではありません。本研究の目的は、東北・ディカル・メガバンク計画で世代ニホート語書のデークを通信環境相互作用の手法を用いて解析し。遠伝子多地が推接支える地があるためのエピデンスを得ること、そして妊娠糖尿病の発症ともの地原疾病および肥減の遺伝子環境交互作用を解明することです。 妊婦約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、児約2万人のゲノは情報(SNPアレイ)、調査累情報、産科カルテ転配情報、税体検査情報、死のデータ・デーともの準原病および肥減の遺伝子環境交互作用を解明することです。 妊婦約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、児約2万人のゲノは情報(SNPアレイ)、調査累情報、産科カルテ転配情報、成化検索を持て、CNAの解析と遺伝環境相互作用の手法を助用、遺伝子多型を分えの合併症のデータ)のデータを持して、CNAの解析と遺伝環境相互作用の手法を助用、遺伝子・変化を持て、CNAの展析と遺伝環境相互作用の手法を助用、透展子多型を列定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 「神本的に、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝子・変型を測定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 「本的に、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝子・変型を測定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防によった。 「中本的に、例えずを連合の発表を選手である。」 「本のに、例えずを選手の発表の発表を選手である。」 「本のに、例えずを選手の発表の発表の表現である。」 「本のに、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝を選手の発表の表現である。」 「本のに、例れらを関係を表現します。」 「本のに、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝を表現である。」 「本のに、例えば産療・発表の表現である。」 「本のに、例えが、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	試料・情報利用研究計画書(概要)										
# 早年の研究機関		利用									
実施責任者 藤原 武男 所属 東京医科歯科大学 職位 教授	主たる研究機関	東京医科歯科大学						東北メディカル・メガバンク機構			
妊娠糖尿病の社会的背景を中心とした環境要因、遺伝要因については先行研究があるものの、新しい診断基準を用いた研究は限られており、遺伝・環境交互作用についても明らかではありません。本研究の目的は、東北メディカル・メガ・シフ計画三世代コホート調査のデータを遺伝環境和百件用の手法を用いて解析し、遺伝子多型から推奨される個人に最適な妊娠糖尿病の発症予防及び妊娠糖尿病的発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を解明することです。 妊婦約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、児約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、調査票情報、産科カルテ転記情報解析することです。 妊婦約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、児約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、調査票情報、産科カルテ転記情報解析のデータにアともの学童期までの肥満、糖尿病および、それらに影響を与える児の合併症のデータ)のデータを用いて、GWAS解析と遺伝形の手法を応用し、遺伝子多型に基づいた個人に最適な妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を検討します。 明待される成果 および表別では、GMスが表別では、GMの手が、MM表別の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を検討します。 「将来的に、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝子多型を測定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 これまでの倫理 審査等の経過 2023年10月 東京医科歯科大学倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫要員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構	研究題目	妊娠糖尿病に関する規定因子の探索						研究期間 2021年9月~2025年3月			
いた研究は限られており、遺伝・環境交互作用についても明らかではありません。本研究の目的は、東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査のデータを遺伝環境和互作用の手法を用いて解析し、遺伝子多型から推奨される個人に最適な妊娠糖尿病の発症予防及び妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を解明することです。 妊婦約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、児約2万人のゲノム情報(SNPアレイ)、調査票情報、産科カルテ転記情報検検検査情報、児のデータ(子どもの学童期までの肥満、糖尿病および、それらに影響を与える児の合併症のデータのデータを用いて、保外系解析と透伝環境和互作用の手法を応用し、遺伝子多型に基づいた個人に最適な妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を検討します。 明待される成果 おいた個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防にかった。の生活習慣改善法をして妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を検討します。 「将来的に、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝子多型を測定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 これまでの倫理 審査等の経過 2023年10月 東京医科歯科大学倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 10年1日 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 10年1日 東京医科歯科大学はスーパーコンピュータに管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにで管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにで管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにアクセスして解析	実施責任者	藤原 武	男	所属	東京医科歯科大学				職位	教授	
横体検査情報、児のデータ(子どもの学童期までの肥満、糖尿病および、それらに影響を与える児の合併症のデータ)のデータを用いて、GWAS解析と遺伝環境相互作用の手法を応用し、遺伝子多型に基づいた個人に最適な妊娠糖尿病の発症予防および糖尿病重症化予防のための生活習慣改善法そして妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を検討します。 将来的に、例えば産婦人科外来等で、いくつかの関係する遺伝子多型を測定と、質問紙により環境要因を把握し、それらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 これまでの倫理 審査等の経過 2023年10月 東京医科歯科大学倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 1024年1月 東北メディカル・メガバンク機構	研究目的と意義	ガバンク計画三世代コホート調査のデータを遺伝環境相互作用の手法を用いて解析し、遺伝子多型から推奨される個人に最適な妊娠糖尿病の発症予防及び妊娠糖尿病および糖尿病合併妊婦の血糖コントロールの治療介入法を検討するためのエビデンスを得ること、そして妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および肥満の遺伝子環境交互作用を									
期待される成果 れらを加味した個別のリスクを推定する治療介入を検討することが可能となり、病気の予測、治療の最適化や二次予防といった点で個別化予防・治療の実現につながる可能性があります。 これまでの倫理 審査等の経過 2023年10月 東京医科歯科大学倫理委員会承認 2024年1月 東北メディカル・メガバンク機構倫理委員会承認 ・医学系研究の倫理指針、機構が定めるセキュリティポリシーのほか、別途締結する研究契約に沿って研究を遂行します。 ・利用する情報は、スーパーコンピュータ上で管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにアクセスして解析	研究計画概要	のデータを用いて、GWAS解析と遺伝環境相互作用の手法を応用し、遺伝子多型に基づいた個人に最適な妊娠糖尿病 の発症予防および糖尿病重症化予防のための生活習慣改善法 <mark>そして妊娠糖尿病の発症とその子どもの糖尿病および</mark>									
審査等の経過 *医学系研究の倫理指針、機構が定めるセキュリティポリシーのほか、別途締結する研究契約に沿って研究を遂行しま倫理面、セキュリティー面への配慮 *利用する情報は、スーパーコンピュータ上で管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにアクセスして解析	期待される成果										
倫理面、セキュリ す。 ティー面への配慮 ・利用する情報は、スーパーコンピュータ上で管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにアクセスして解析											
を行います。 		・医学系研究の倫理指針、機構が定めるセキュリティポリシーのほか、別途締結する研究契約に沿って研究を遂行します。 ・利用する情報は、スーパーコンピュータ上で管理され、東京医科歯科大学はスーパーコンピュータにアクセスして解析 を行います。									
その他特記事項 大学運営資金	その他特記事項	大学運営資金									
(事務局使用欄) *公開日 2024年1月23日	(事務局使用欄)				*公開日 2	024年1	月23日				